



れんげそう

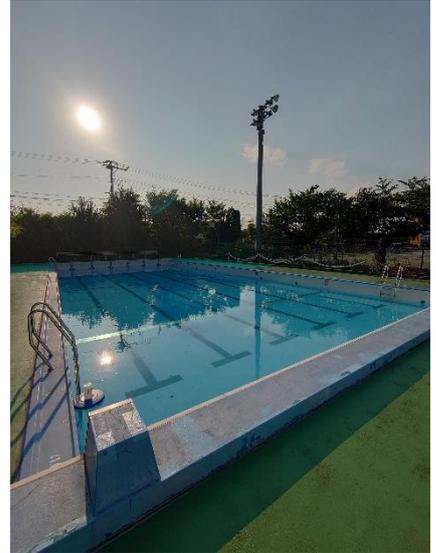
令和6年8月29日
福生第五小学校
学校通信第565号

目標に向かって

校長 泉田 巧人

夏休みも終わり、学校には久しぶりに子どもたちの元気な声が響き渡り、笑顔があふれています。学校には子どもたちがいることが一番だと実感しました。夏休み期間中、子どもたちの健康や安全、学習等を支えていただきました保護者の皆様方に感謝申し上げます。

本校の水泳指導についてですが、昨今の夏の気候や社会情勢等様々なことから、安定して指導が行え、教育内容が充実するように教育委員会のお取り計らいにより、来年度から民間委託となります。そのために、本校のプールで水泳指導を行うのは今年度が最後です。本校の水泳指導では、地域の「太郎先生（石川彌八郎氏）」が長きにわたり水泳指導員を行っていただいています。太郎先生の発案から、子どもたちが、地域の大人に本気で勝負を挑み勝ちたいという目標をもつことで、水泳を楽しんで練習できればという趣旨で始まったGCS企画「太郎先生に挑戦」も今年で3回目になりました。本校のプールで行う「太郎先生に挑戦」は最後になるため、地域やPTAにも呼び掛けて実施しました。町会長様をはじめ、地域の本校を卒業した方々等にも参加していただき盛大に実施できたことに感謝いたします。夏のプールという風物詩が一つなくなるのは物悲しい気持ちもありますが、社会の変革に柔軟に対応しながら、今後も教育活動を充実させていきたいと思っております。



役目を果たし夕陽に映える五小プール
たくさんの思い出をありがとう

さて、今年の夏は、7月26日からパリ2024オリンピック大会が始まりました。私もついテレビをみてしまい寝不足の日が続きました。日本人選手団は、金メダル20、銀メダル12、銅メダル13、合計45のメダルを獲得する大活躍でした。競技する選手の姿に感動した方もたくさんいると思います。選手たちはオリンピックを目標に一生懸命に努力し頑張ってきたと思います。そして、選手が頑張ってきたのは、一生懸命に支える人がいたからこそではないでしょうか。みんなの思いが実り、競技に勝利し、輝かしい結果が得られたことで努力が報われたことと思います。私たちは、つい勝ちにこだわり、結果に着目してしまいがちです。しかし、最後まで諦めずもてる力を精一杯出し切って頑張っている姿、行ってきた努力には、勝者も敗者もないと思います。だからこそ、一生懸命な姿には感動しますし、勇気をもらうこともできるのだと思います。

8月28日からはパリ2024パラリンピックが始まり、まだまだ熱い戦いが繰り広げられ、私の寝不足の日が続いてしまいます。また、来年には東京2025デフリンピックが開催されます。デフリンピックとは、ろう者のためのオリンピックです。目標に向かい頑張っている全ての人にエールを送ります。

2学期も、子どもたちには目標をもち、達成させるためにひたむきに打ち込んでほしいと思います。教職員一同は、子どもたちのやる気が出るよう、頑張っている過程を評価し、一生懸命に支えてまいります。家庭、地域の御協力をどうぞお願いいたします。